

# 第3章 市民の健康の状況

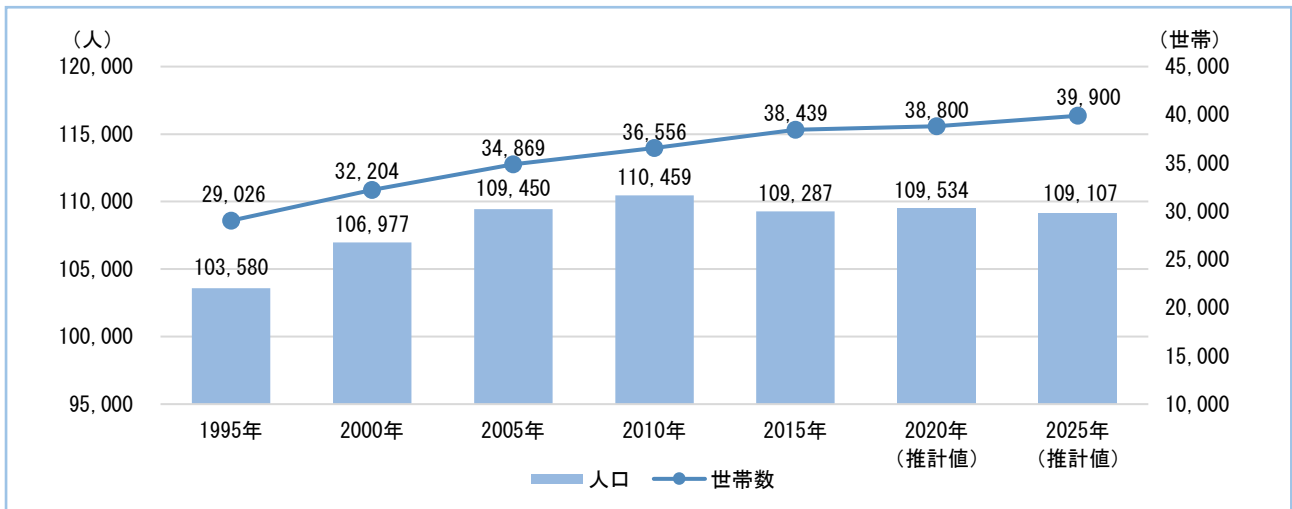


## 1. 人口構成

### (1) 人口と世帯数

本市の人口は2010年（平成22年）をピークに2015年（平成27年）は減少に転じていますが、世帯数は増加しています。

図. 人口と世帯数の推移

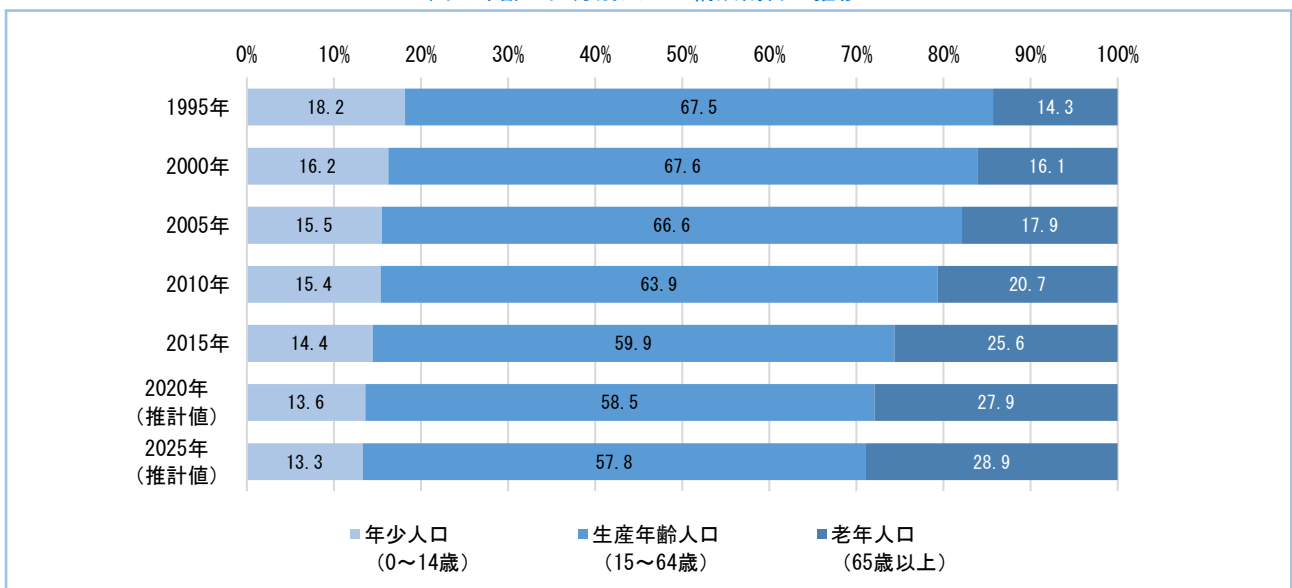


資料：1995年（H7年）～2015年（H27年）は「国勢調査」  
2020年（H32年）、2025年（H37年）は「第2次白山市総合計画」（「白山市人口ビジョン」）に基づく推計値

### (2) 年齢3区分別人口構成

本市の年齢3区分別人口の構成割合は、年少人口や生産年齢人口が減少し、老年人口が増加しています。

図. 年齢3区分別人口の構成割合の推移

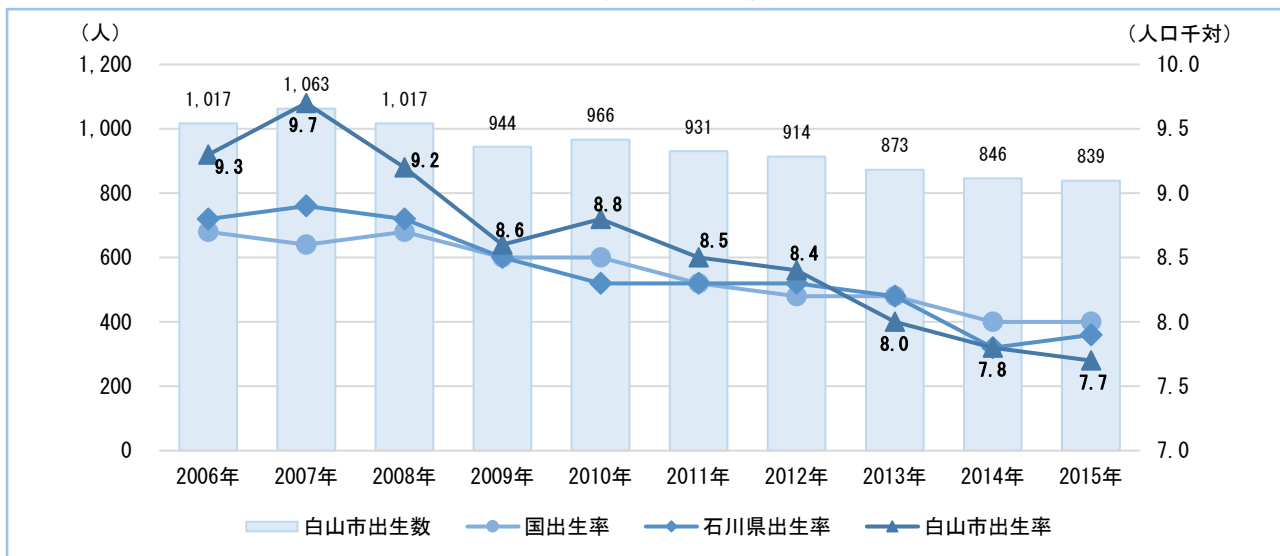


資料：1995年（H7年）～2015年（H27年）は「国勢調査」  
2020年（H32年）、2025年（H37年）は「第2次白山市総合計画」（「白山市人口ビジョン」）に基づく推計値

### (3) 出生数と出生率

本市の出生数は減少しており、また出生率においても2013年（平成25年）から国や県より低くなっています。

図. 出生数と出生率の推移

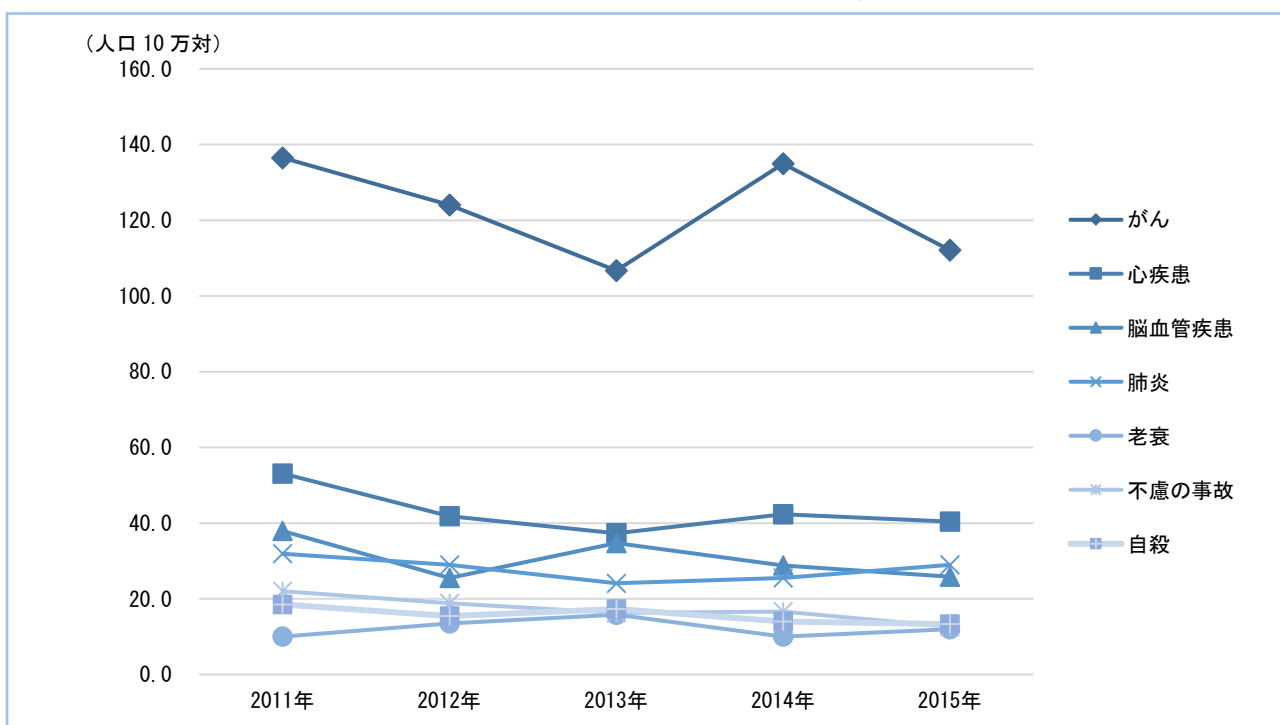


資料：厚生労働省「人口動態統計」、石川県「衛生統計年報」

### (4) 年齢調整死亡率

本市の主要死因別年齢調整死亡率は、「がん」が死因の第1位で推移しており、次いで「心疾患」となっています。第3位の死因をみると、2014年（平成26年）は「脳血管疾患」でしたが、2015年（平成27年）では「肺炎」となっています。

図. 白山市の主要死因別年齢調整死亡率の推移



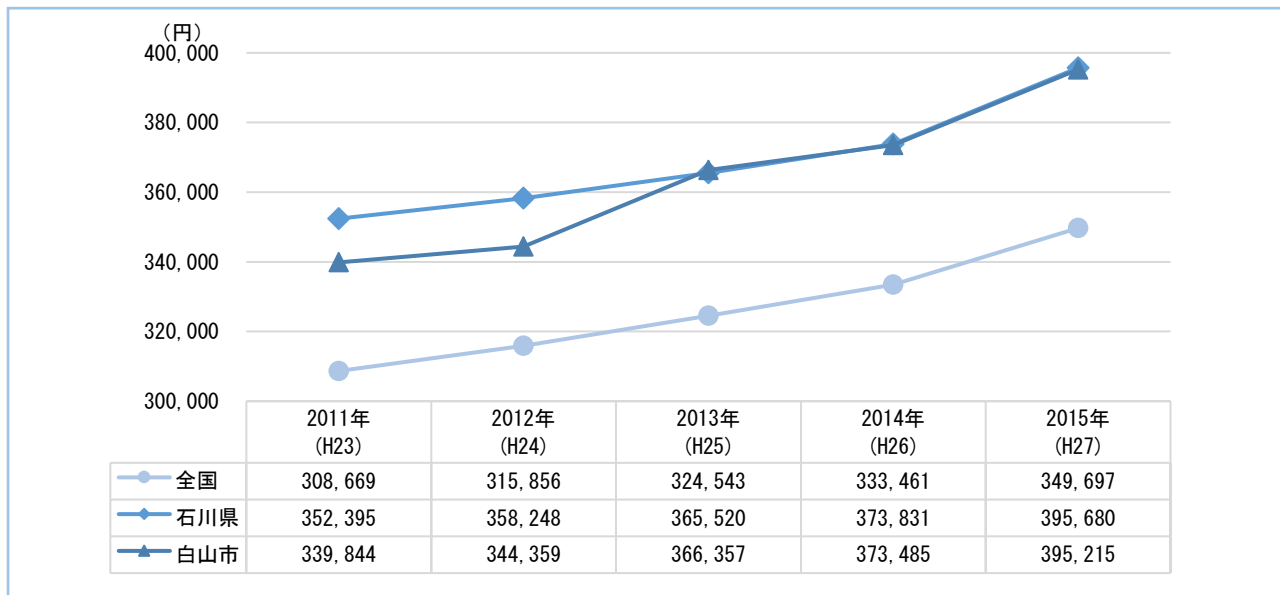
資料：石川県「衛生統計年報」

## 2. 医療費

### (1) 国民健康保険の一人あたり医療費

本市の国民健康保険の一人あたり医療費は増加しており、全国より高く、2013年（平成25年）以降は石川県平均とほぼ同額となっています。

図. 国民健康保険の一人あたり療養費の推移

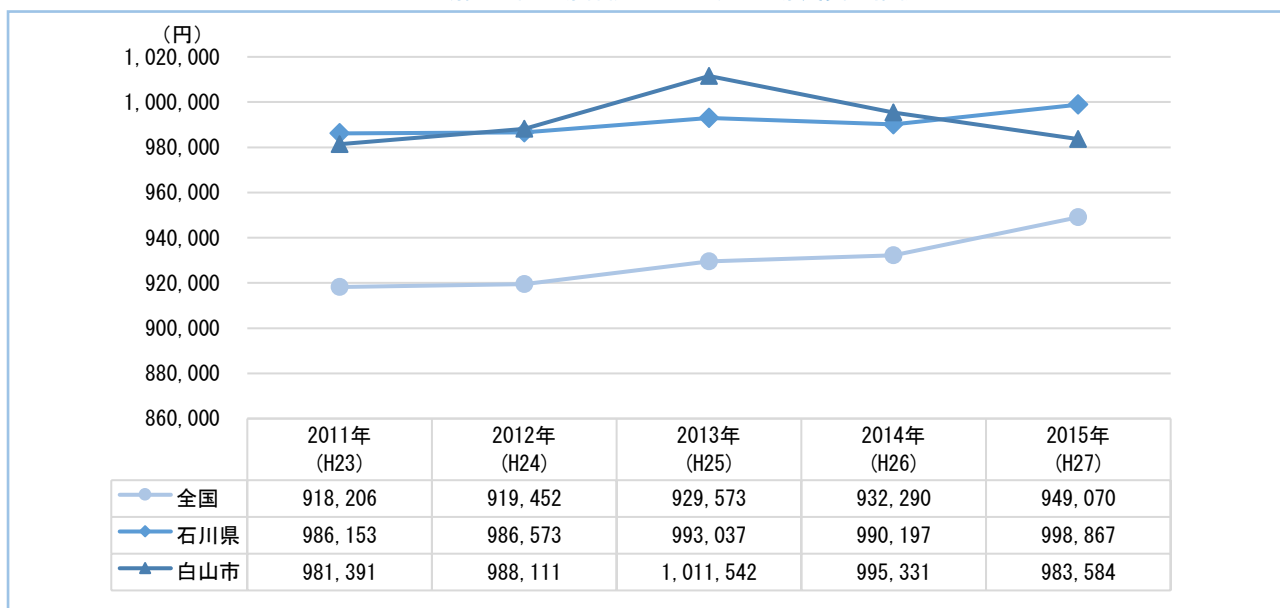


資料：【全国】厚生労働省「健康保険事業年報」  
 【石川県】石川県国民健康保険団体連合会「グラフで見る石川県の国保と介護」  
 【白山市】白山市保険年金課調べ

### (2) 後期高齢者医療保険の一人あたり医療費

本市の後期高齢者医療保険の一人あたり医療費は2013年（平成25年）をピークに減少しており、2015年（平成27年）は全国より高く、石川県より低くなっています。

図. 後期高齢者医療保険の一人あたり療養費の推移



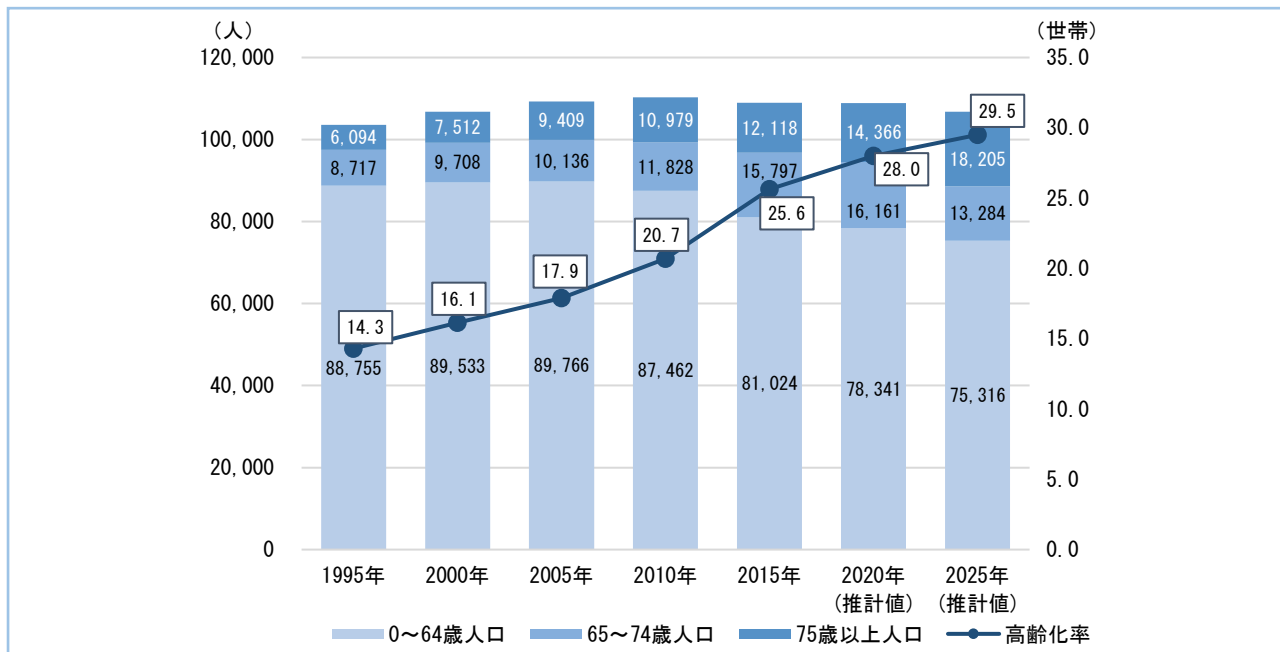
資料：【全国】厚生労働省「後期高齢者医療事業年報」  
 【石川県・白山市】石川県後期高齢者広域連合調べ

### 3. 介護保険の状況

#### (1) 高齢者人口・高齢化率

本市の高齢化率（65歳以上の人口割合）は増加しており、2015年（平成27年）は25.6%、2025年（平成37年）には3人に1人が65歳以上と推計されています。

図. 高齢者人口・高齢化率の推移

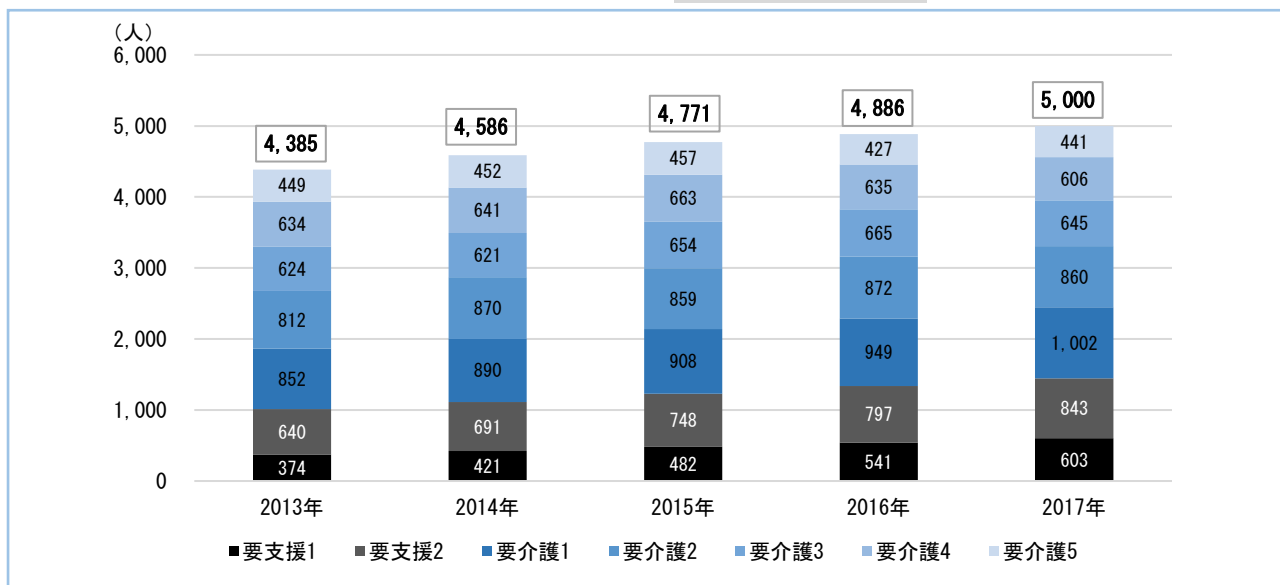


資料：1995年（H7年）～2015年（H27年）は「国勢調査」  
2020年（H32年）、2025年（H37年）は「日本の地域別将来推計人口」（平成25年3月推計）国立社会保障・人口問題研究所

#### (2) 要介護等認定者の現状

本市の要支援・要介護認定者数は増加しており、2017年（平成29年）の要支援認定者数は1,446人、要介護認定者数は3,554人となっています。

図. 要介護等認定状況の推移（各年3月31日現在）



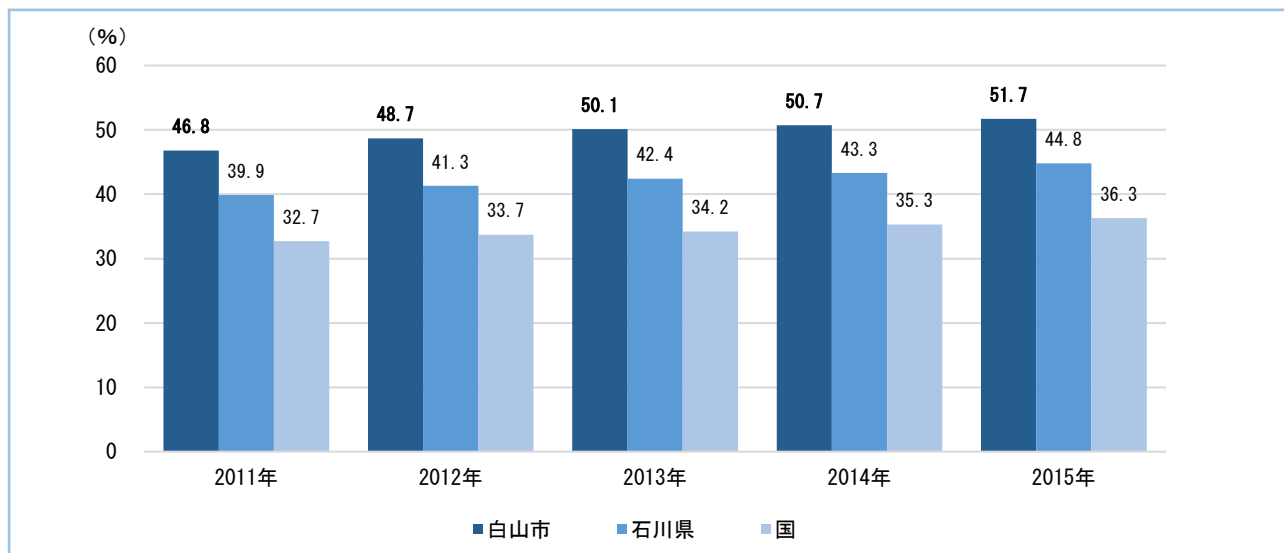
資料：「白山市の健康と福祉」

## 4. 市民の健康管理状況

### (1) 国民健康保険特定健康診査の受診状況

本市の国民健康保険特定健康診査の受診率は増加しており、県や国より高い受診率になっています。

図. 国民健康保険特定健康診査の受診率の推移

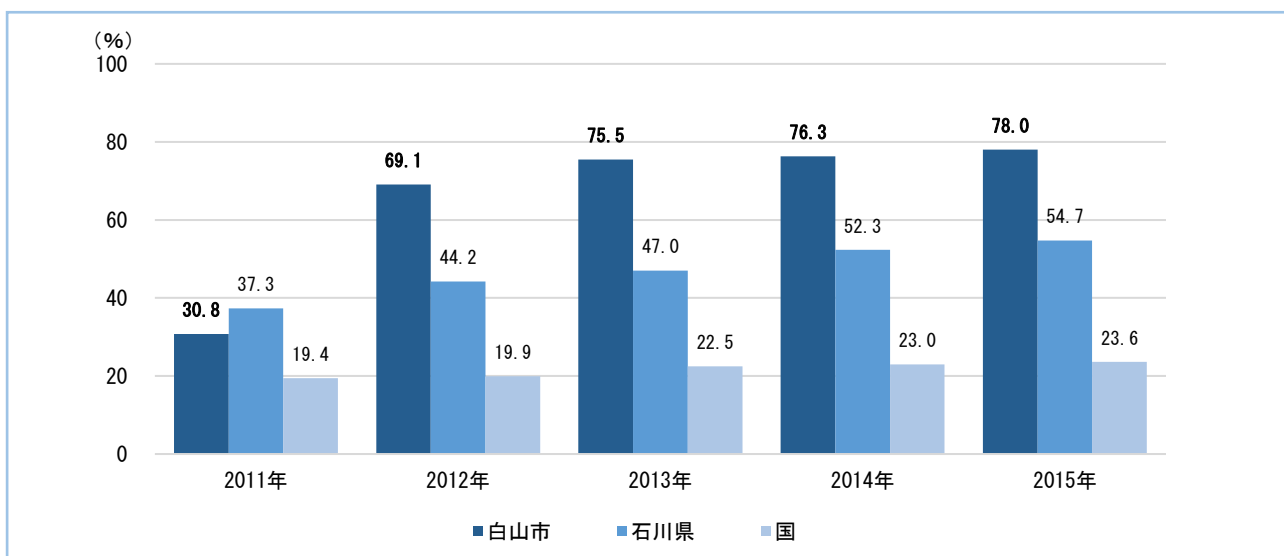


資料：白山市いきいき健康課調べ

### (2) 国民健康保険特定保健指導の状況

本市の国民健康保険特定保健指導の実施率は増加しており、2012年（平成24年）以降は県や国より高い実施率になっています。

図. 国民健康保険特定保健指導の実施率の推移



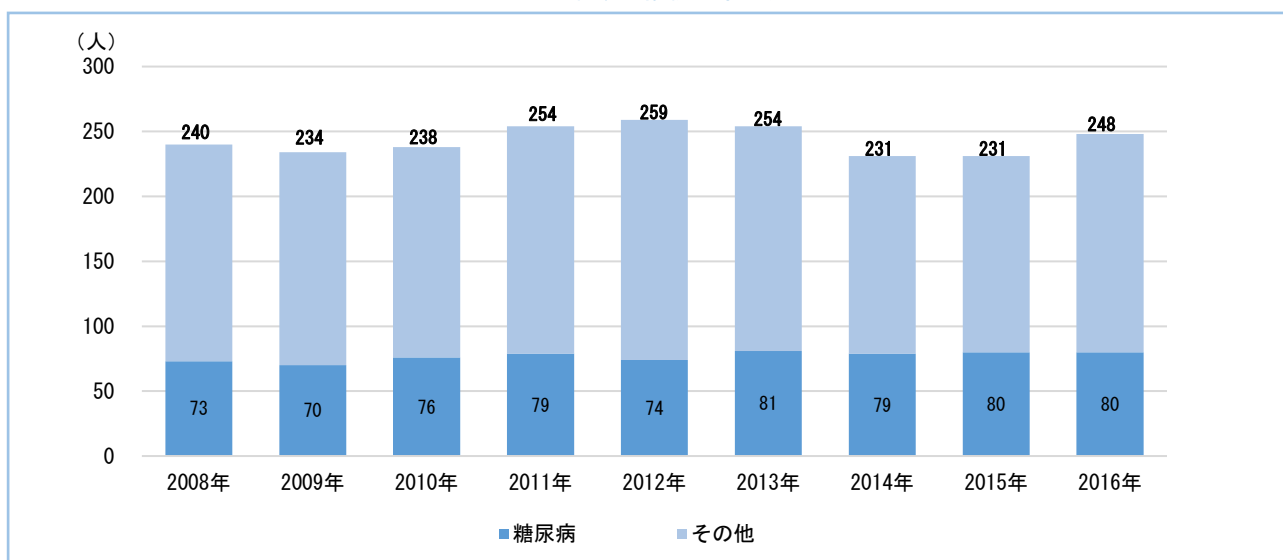
資料：白山市いきいき健康課調べ

### (3) 人工透析患者の状況

人工透析患者数は、2012年度（平成24年度）以降減少傾向にありましたが、2015年度（平成27年度）から2016年度（平成28年度）にかけて再び増加しています。予防可能な「原因疾患が糖尿病」の患者数は、約3割で推移しています。

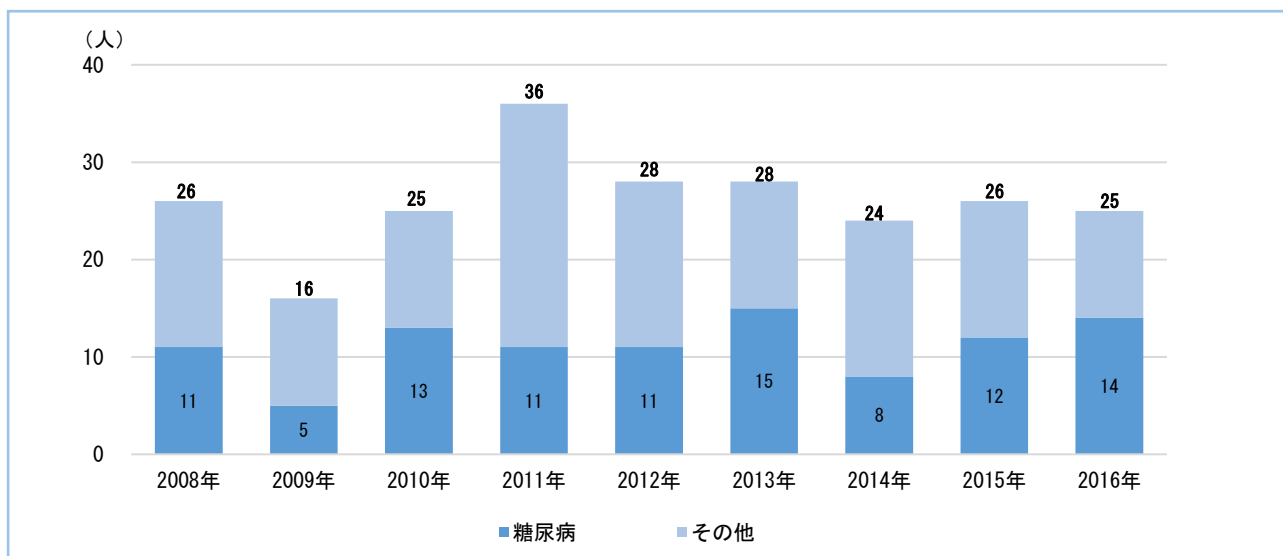
新規人工透析患者数は、2012年度（平成24年度）に減少し、2016年度（平成28年度）は新規人工透析患者数の半数以上を「原因疾患が糖尿病」が占めています。

図. 人工透析患者数の推移（原因疾患別）



資料：白山市いきいき健康課調べ

図. 新規人工透析患者数の推移（原因疾患別）



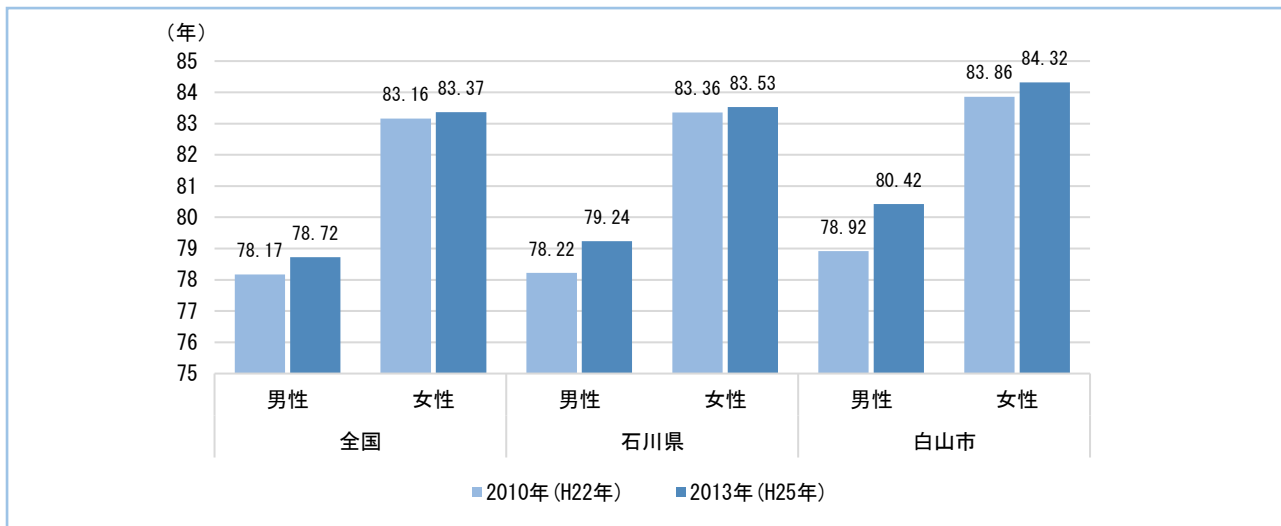
資料：白山市いきいき健康課調べ

## 5. 健康寿命と平均寿命

本市の健康寿命「日常生活動作が自立している期間の平均」は、全国や石川県より長く、男女ともに延伸しています。また、平均寿命と健康寿命の差をみると、男性より女性が大きくなっています。

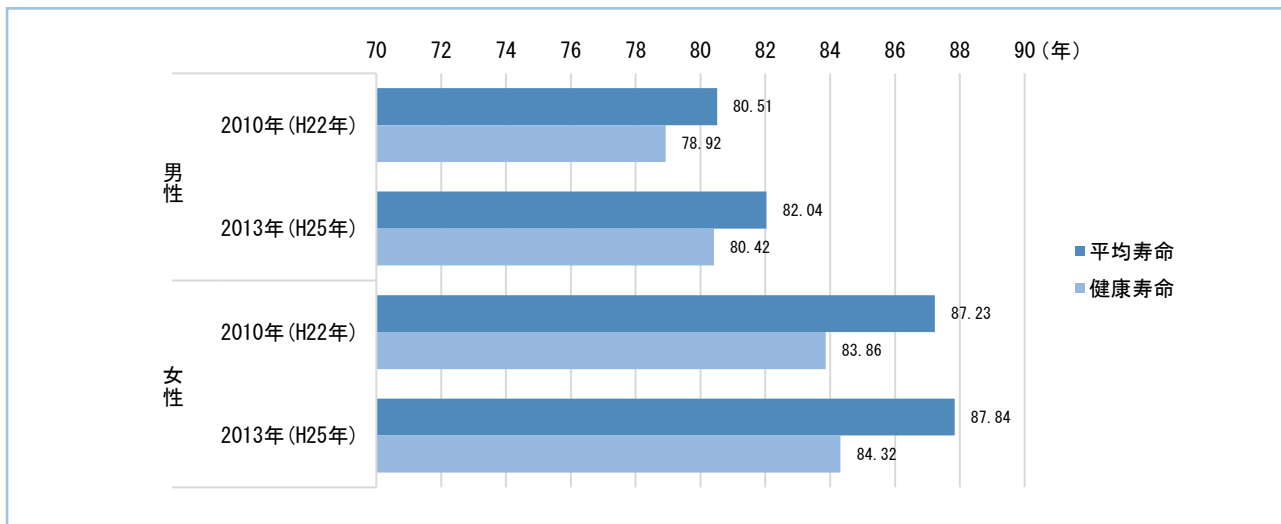
※「日常生活動作が自立している期間の平均」…要介護2～5の認定者数をもとに算出

図. 健康寿命「日常生活動作が自立している期間の平均」



※全国、石川県の値は厚生労働科学研究班「健康寿命における将来予測と生活習慣病対策の費用対効果に関する研究」の数値を引用  
白山市の値は厚生労働科学研究班「健康寿命の算定プログラム」により算出

図. 白山市の平均寿命と健康寿命



※厚生労働科学研究班「健康寿命の算定プログラム」により算出

### 「健康寿命」の考え方について

一般的に国が公表する「健康寿命」は、外国との比較を容易にするため、国民生活基礎調査（アンケート）のデータを元に算定しています。市町村は、サンプル数の少ない国民生活基礎調査ではなく、介護保険のデータを元に「健康寿命」を算定するのが一般的です。

よって、国が一般的に公表するアンケートを基にした「健康寿命」と、市町村が公表する要介護認定者数を基にした「健康寿命」は比較できませんので、ご注意ください。

## 6. アンケート調査にみる市民の健康に関する現状

### ■調査結果の見方

1. 調査結果は百分率で表示し、百分率は小数第2位を四捨五入しています。よって、合計値が100%にならない場合があります。
2. 複数回答が可能な質問の百分率は、各選択肢の回答数を本調査の総回答数で割った数値です。よって、各項目の比率の合計値が100%にはなりません。
3. 表中に「N」と記してあるのは、対象者の総数です。

※アンケート結果の詳細は、市ホームページに掲載しています。

[トップページ](#) ⇒ [健康・福祉](#) ⇒ [市民の健康](#) ⇒ [第2次白山市健康プラン](#)

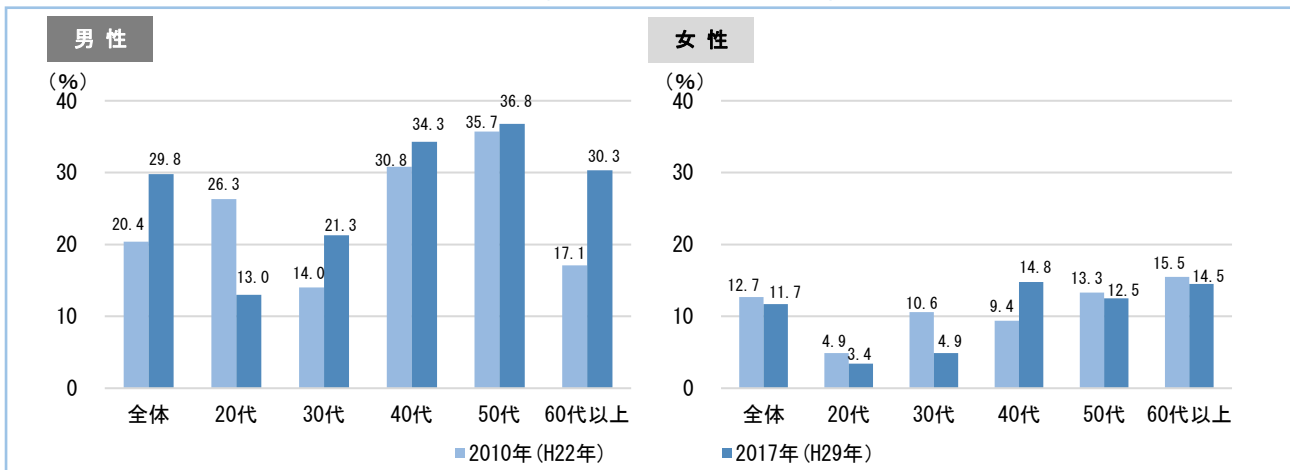
からご覧ください

### (1) 栄養・食生活

#### ①肥満者

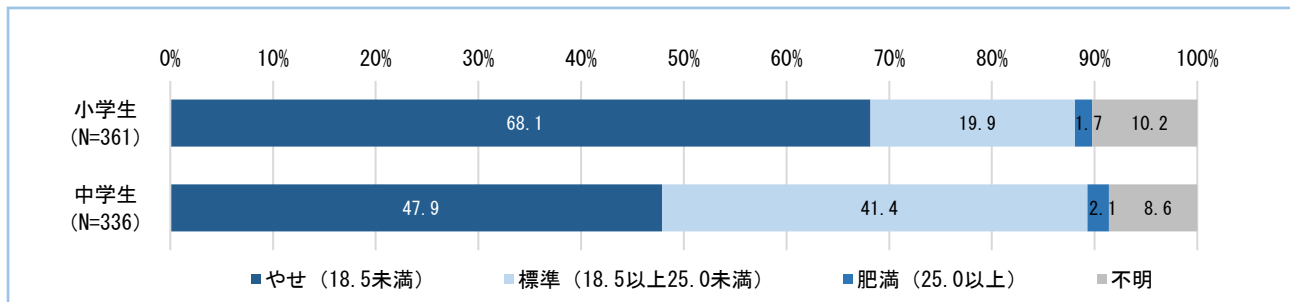
肥満者の割合は、全ての年代において女性より男性が多く、40代以上の割合が多い傾向にあります。前回調査と比べると、男性は30代以上、女性は40代で肥満者の割合が増加しています。

図. 肥満者（BMI 25.0以上）の割合



資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

図. 小中学生のやせ・肥満の割合（2017年(H29年)）



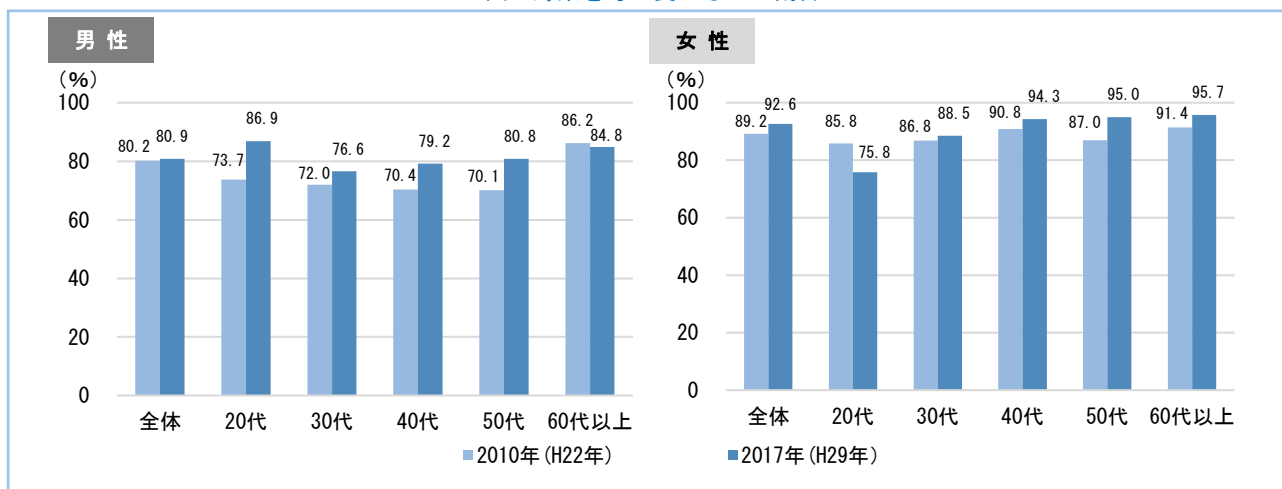
資料：白山市健康に関するアンケート調査（小中学生）



## ②野菜の摂取

野菜を毎日食べる人の割合は、男女ともに7割以上と多くなっています。前回調査と比べると、男性は60代以上、女性は20代で野菜を毎日食べる人の割合が減少しています。

図. 野菜を毎日食べる人の割合

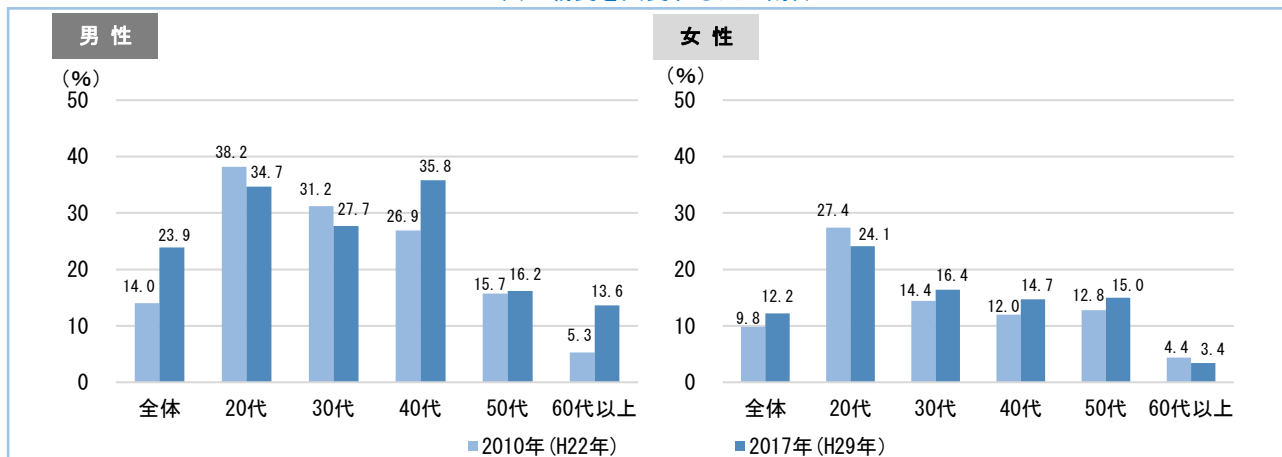


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

## ③朝食の欠食

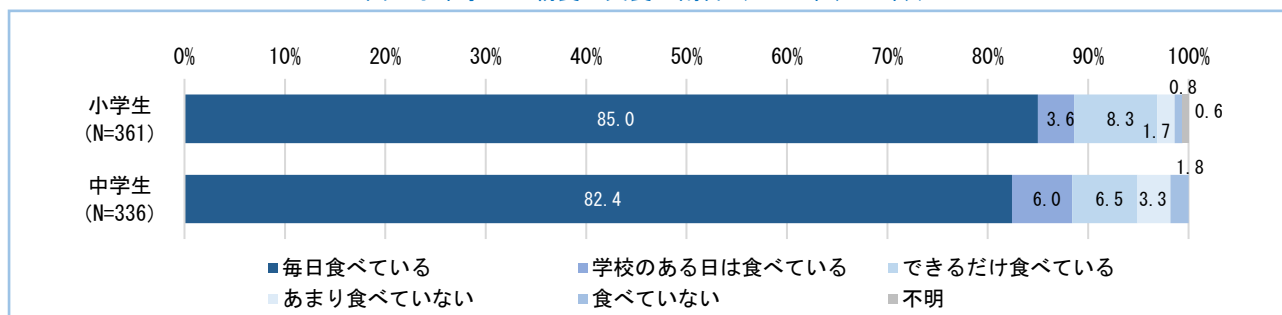
朝食を欠食する人の割合は、全ての年代において女性より男性が多く、若い人ほど欠食している傾向があります。前回調査と比べると、男性は40～60代、女性は30～50代で朝食を欠食する人の割合が増加しています。

図. 朝食を欠食する人の割合



資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

図. 小中学生の朝食の欠食の割合（2017年 (H29年)）

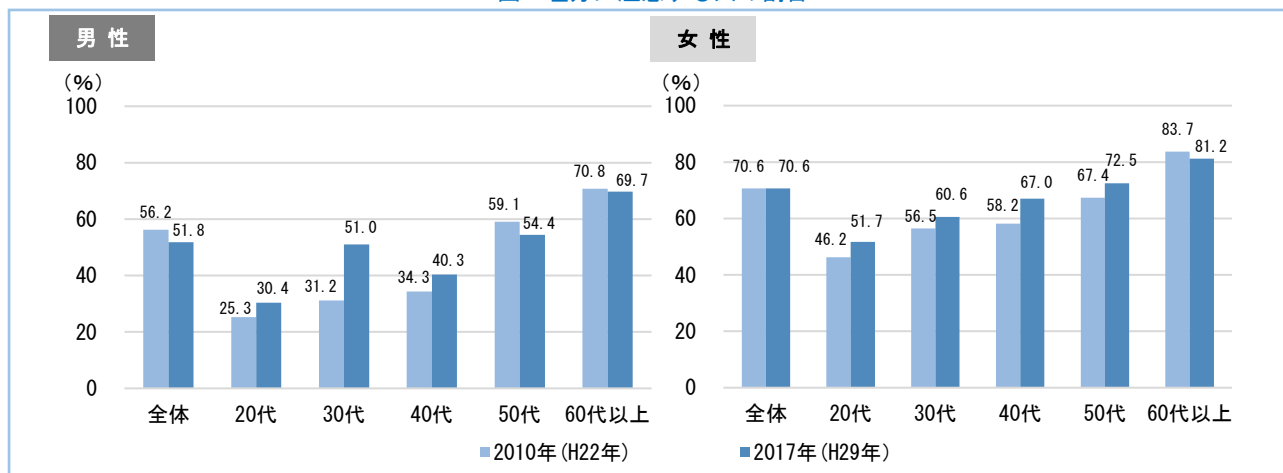


資料：白山市健康に関するアンケート調査（小中学生）

#### ④塩分への注意

塩分に注意する人の割合は、全ての年代において男性より女性が多く、年齢が高くなるほど注意している傾向があります。前回調査と比べると、男性は50代以上、女性は60代以上で塩分に注意する人の割合が減少しています。

図. 塩分に注意する人の割合

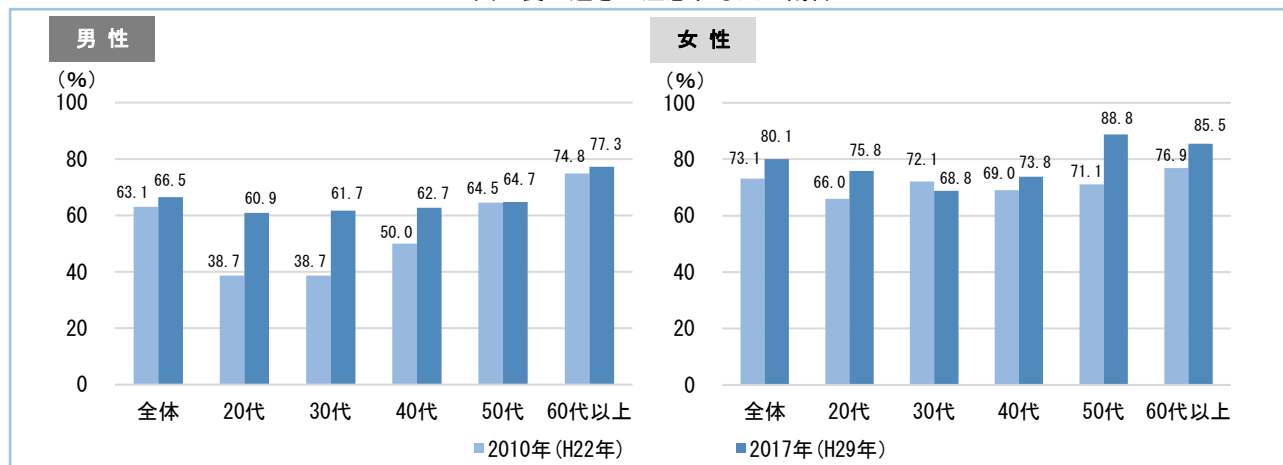


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

#### ⑤食べ過ぎへの注意

食べ過ぎに注意する人の割合は、全ての年代において男性より女性が多く、前回調査と比べると、女性の30代を除いて、男女ともに食べ過ぎに注意する人の割合が増加しています。

図. 食べ過ぎに注意する人の割合

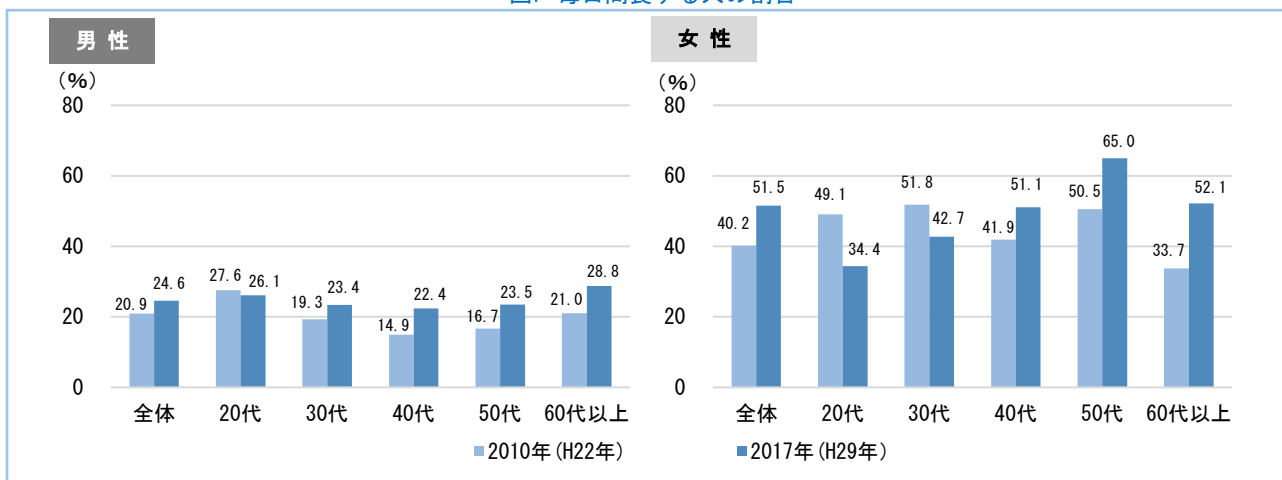


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

## ⑥間食

毎日間食する人の割合は、全ての年代において男性より女性が多くなっています。前回調査と比べると、男性は30代以上、女性は40代以上で毎日間食する人の割合が増加しています。

図. 毎日間食する人の割合



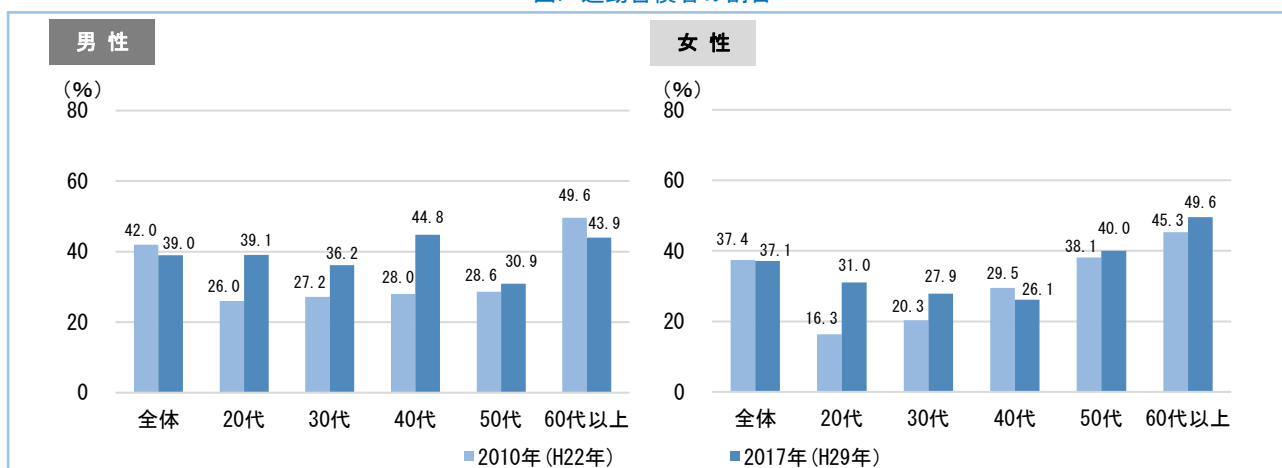
資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

## （2）身体活動・運動

### ①運動習慣者

運動習慣者の割合は、40代までは男性が多く、50代以降は女性が多くなっています。前回調査と比べると、男女ともに運動習慣者の割合がわずかに減少しています。

図. 運動習慣者の割合

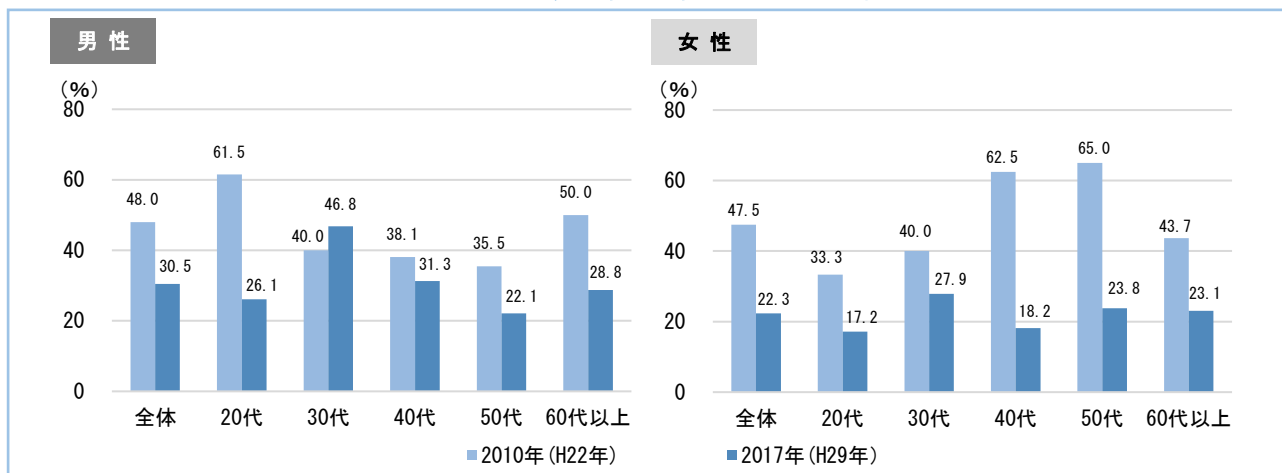


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

## ② 1日に6,000歩以上歩いている人

1日に6,000歩以上歩いている人の割合は、前回調査と比べると、男性30代を除いて、男女ともに減少しています。

図. 1日に6,000歩以上歩いている人の割合

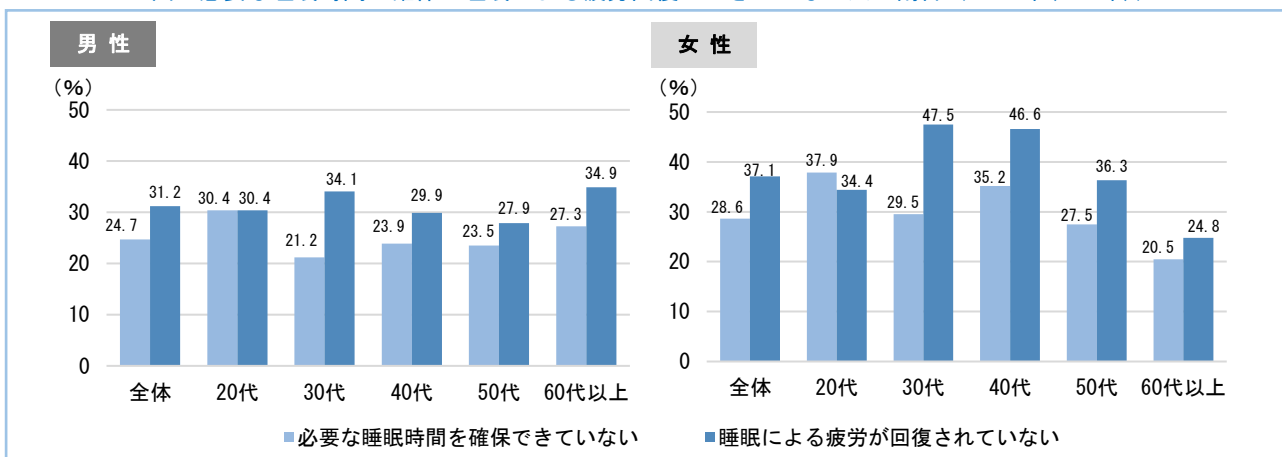


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

## (3) 休養

男性より女性が、必要な睡眠時間の確保、そして睡眠による疲労回復ができていない傾向にあります。特に女性30・40代において、その傾向が顕著にあらわれています。

図. 必要な睡眠時間の確保と睡眠による疲労回復ができていない人の割合（2017年 (H29年)）

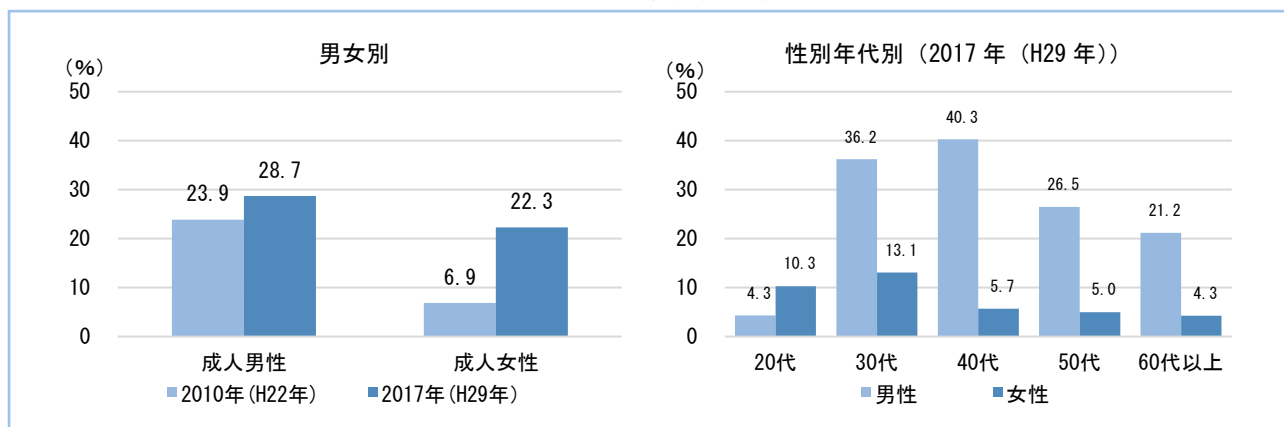


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

#### (4) たばこ

喫煙者の割合は、前回調査と比べると、男性・女性ともに増加しています。年代別にみると、男性は30・40代の喫煙者が特に多く、女性は20・30代が多くなっています。

図. 成人喫煙者の割合

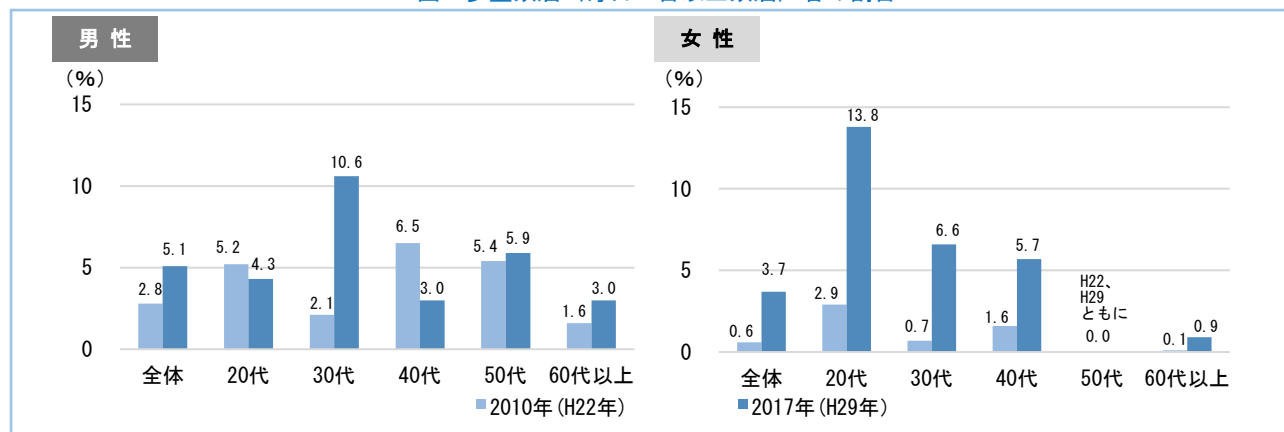


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

#### (5) 飲酒

多量飲酒者の割合は、男性は30代、女性は20代が多くなっています。前回調査と比べると、男性の20・40代を除いて、男女ともに多量飲酒者の割合が増加しています。

図. 多量飲酒（毎日3合以上飲酒）者の割合



資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

## (6) 歯の健康

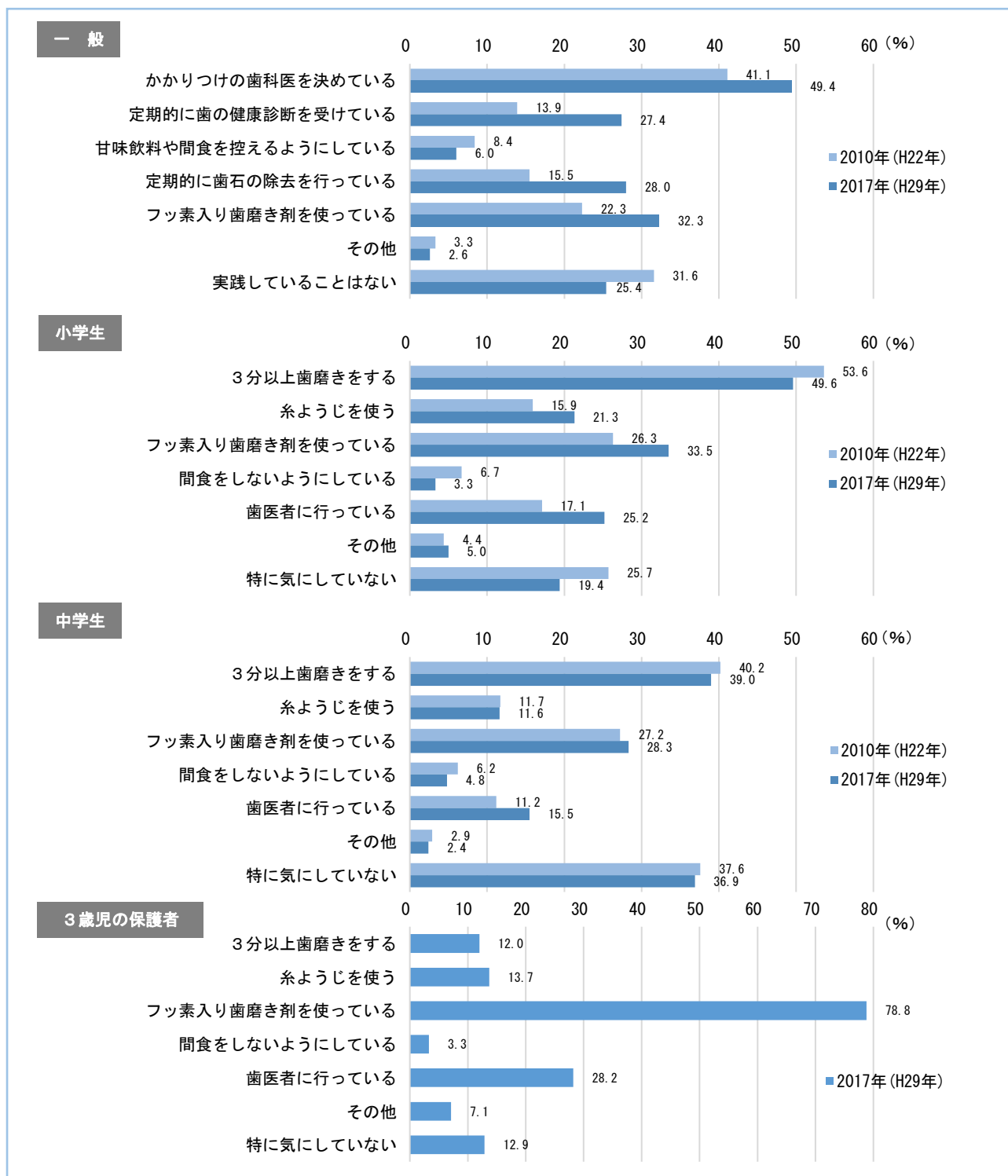
### ①歯の健康づくりのために行っていること

一般では、「甘味料や間食を控えるようにしている」を除くほとんどの項目で、前回調査に比べ増加しています。

小中学生は、「フッ素入り歯磨き剤を使っている」「歯医者に行っている」が増加し、小学生では「糸ようじを使う」も増加しています。

3歳児は、「フッ素入り歯磨き剤を使っている」保護者が最も多くなっています。

図. 歯の健康づくりのために行っていること（複数回答）

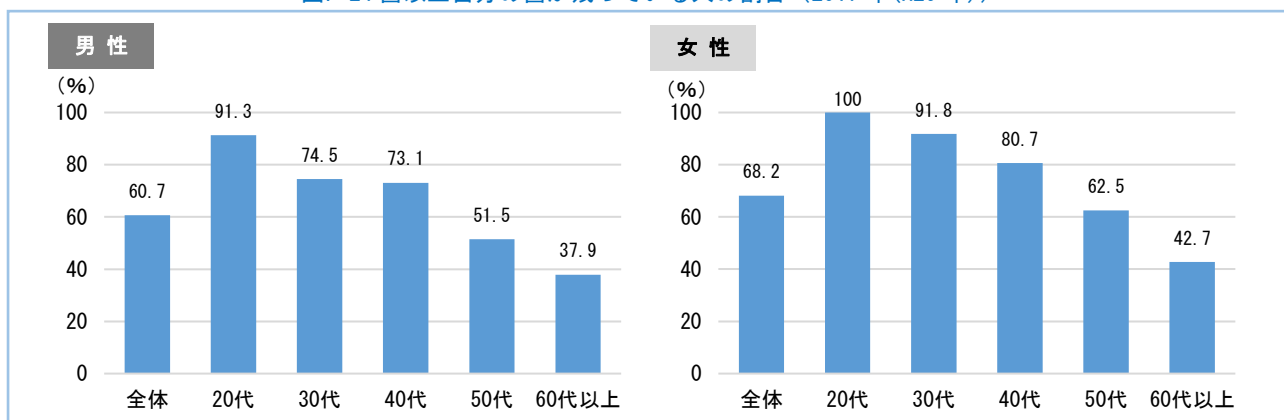


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般、小中学生、3歳児の保護者）

### ②24 歯以上自分の歯が残っている人

24 歯以上自分の歯が残っている人の割合は男性より女性が多く、男女ともに 50 代以降に大きく割合が減少しています。

図. 24 歯以上自分の歯が残っている人の割合 (2017 年(H29 年))

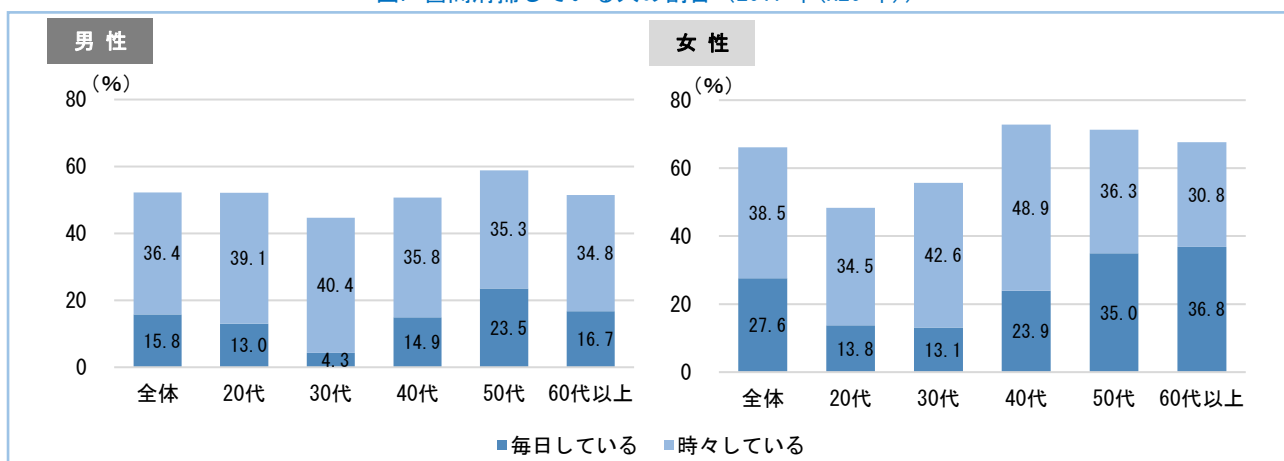


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

### ③歯間清掃している人

歯間清掃している人の割合は男性より女性が多く、女性は 20・30 代の割合が少ない傾向にあります。

図. 歯間清掃している人の割合 (2017 年(H29 年))

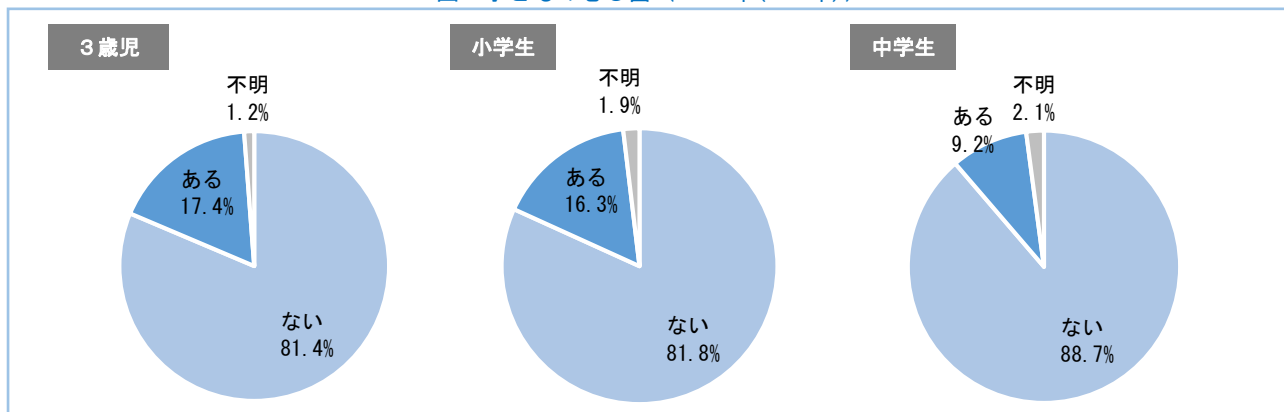


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

### ④子どものむし歯

3 歳児のむし歯の割合が最も多く、中学生では 1 割程度となっています。

図. 子どものむし歯 (2017 年(H29 年))



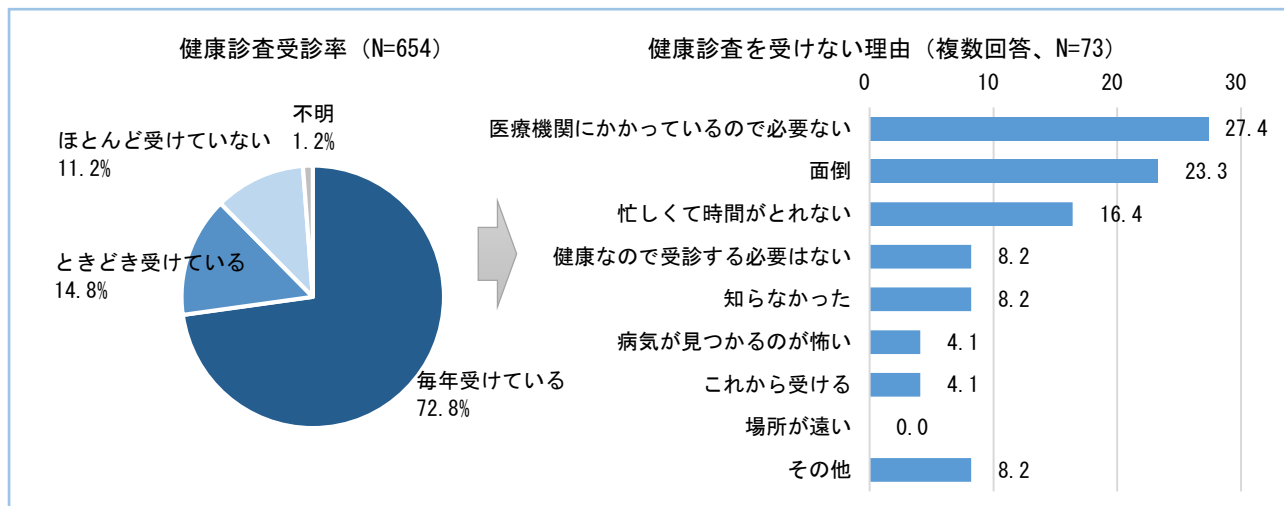
資料：白山市健康に関するアンケート調査（小中学生、3 歳児の保護者）

### (7) 健康診査受診率

健康診査を毎年受けている人は約7割となっています。

一方、ほとんど受けない人は約1割となっており、その理由は「医療機関にかかっているの  
 必要ない」(27.4%)が最も多く、次いで「面倒」(23.3%)、「忙しくて時間がとれない」(16.4%)  
 となっています。

図. 健康診査の受診状況 (2017年(H29年))

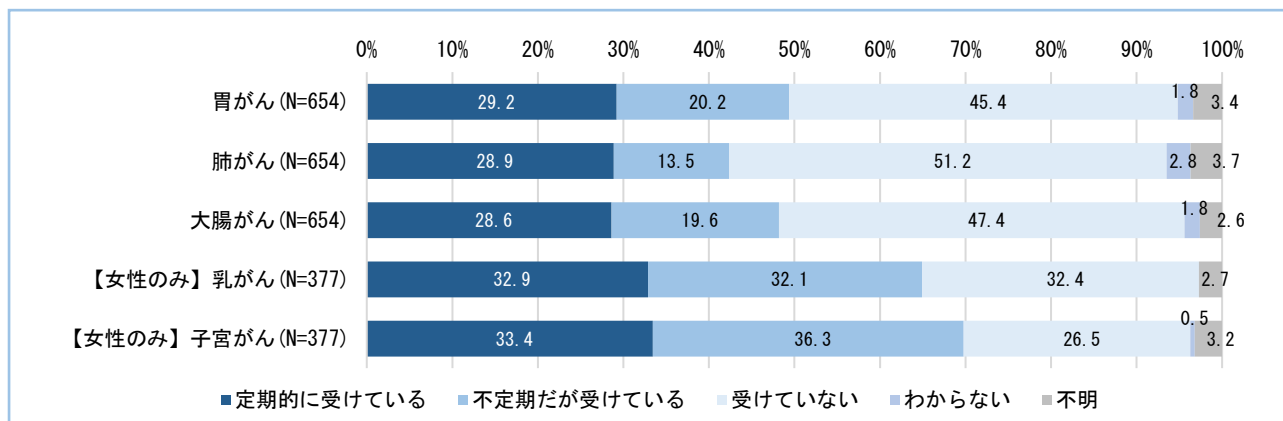


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

### (8) がん検診受診率

がん検診では、「子宮がん (女性)」(33.4%) が最も受診率が高く、次いで「乳がん (女性)」  
 (32.9%)、「胃がん」(29.2%) となっています。

図. がん検診の受診状況 (2017年(H29年))



資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）



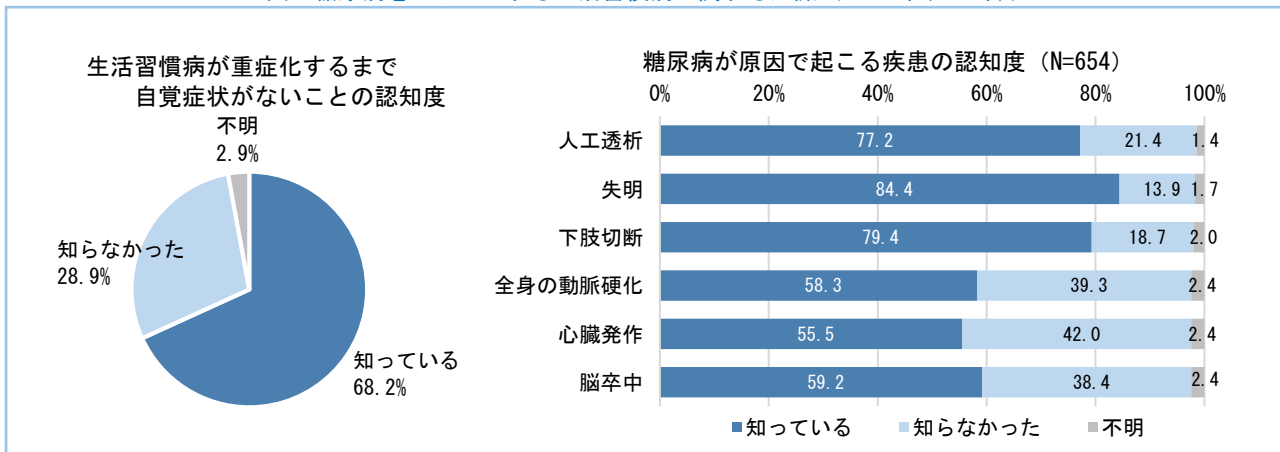
(9) 生活習慣病

①糖尿病をはじめとする生活習慣病に関する知識

「生活習慣病が重症化するまで自覚症状がない」ことを知らない人は、3割程度となっています。

また、糖尿病が原因で起こる疾患について「知らなかった」項目は、「心臓発作」(42.0%)が最も多く、次いで「全身の動脈硬化」(39.3%)、「脳卒中」(38.4%)となっています。

図. 糖尿病をはじめとする生活習慣病に関する知識 (2017年(H29年))

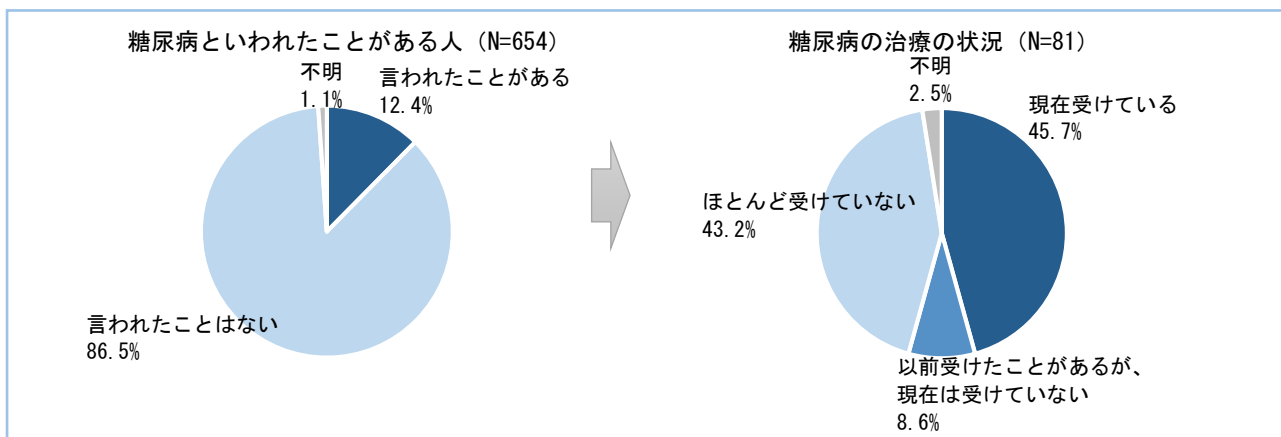


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

②糖尿病の治療

「糖尿病といわれたことがある人」は約1割となっており、そのうち約4割の人がほとんど治療を受けていません。

図. 糖尿病の治療 (2017年(H29年))

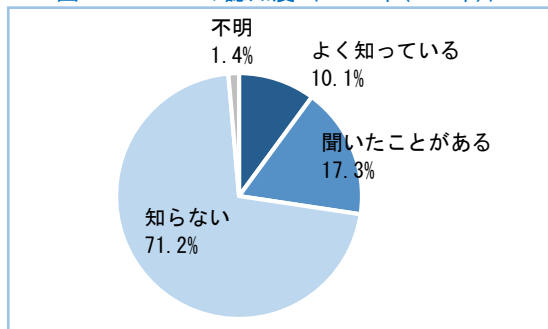


資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）

(10) 慢性閉塞性肺疾患 (COPD) に対する知識

COPDを知らない人は7割程度となっています。

図. COPDの認知度 (2017年(H29年))



資料：白山市健康に関するアンケート調査（一般）